会報

アルテピア

第74号
平成31年3月

一般社団法人 北海道美術館協力会
札幌市中央区北3条西18丁目2－7 新田ビル　TEL・FAX 011－644－4025
http://www.artepia.or.jp

村元俊郎《セニョリータ》

1991（平成3）年　油彩・キャンバス　130.5×162.0㎝（北海道立帯広美術館蔵）

1923（大正12）年、江差町に生まれた村元俊郎は、北海道第二師範学校（現・北海道教育大学函館校）卒業後、教員として、苫小牧、帯広、釧路の高校に勤務。かたわら全道展などに出品を続けるとともに、たびたびヨーロッパやアメリカ、中南米などに滞在する。

55歳になる1978（昭和53）年には、画家として独立。その後、メキシコに居住してからは、灼熱の太陽が降り注ぐ自然やそこに生きる人々に触発され、新たな境地を切り開いていった。1993（平成5）年には地域の美術活動の活性化に寄与すべく、芽室町の廃校跡に「画家の美術館」を開設するも翌々年に死去。現在は、長男で画家の村元美海（はるみ）が同館（アートギャラリー北海道連携館）を運営している。

この作品のタイトル「セニョリータ」は、スペイン語/ポルトガル語で「お嬢さん」の意味。若い女性の顔は、横長の大画面いっぱいにとらえられ、その存在感は際立っている。また、メキシコは「人の心も装いも原色がよく似合う」と村元が述べているように、赤、青、黄などの鮮烈な色彩を用い、奔放なタッチで画面全体が埋めつくされている。

メキシコを拠点に村元は人間像をはじめ、人々の暮らしの情景、また風景や動物、花々などをモティーフとした作品に取り組んだ。こうした一連の作品は、ラテン的な陽気さに満ちあふれ、その圧倒的な活力は私たちに元気を与えてくれる。

（北海道立帯広美術館学芸課長　光岡幸治）

カラヴァッジョ展

Caravaggio
2019-2020

2019年8月10日(土)▶10月14日(月・祝)

北海道立近代美術館　上席専門員　**地家 光二**

カラヴァッジョを知っていますか？ああ、美味しいよね。やみつきになる人もいるよ。

いやいや、カルパッチョではありません。ときに「呪われた画家」とも呼ばれるカラヴァッジョは、本名ミケランジェロ・メリージ。38年の夭折の生涯を駆け抜け、その絵は観る者をとらえて引き込む強烈な魅力にあふれています。イタリアの誇る至宝として、とくに近年は研究も深まり、そして人気の高まりも世界的に。日本でも21世紀に入って2度開催された展覧会では、計50万人以上もの観覧者がつめかけました。そして今回、北海道で初めてとなる展覧会が開かれます。カラヴァッジョとは何者なのか？400年の時を超え、奇蹟ともいえるこの画家の偉業を紹介します。やみつきになるかも。

《病めるバッカス》1594年頃　ボルゲーゼ美術館蔵
*札幌のみ展示　※若きカラヴァッジョの自画像ともいわれる作品
©Alinari, Licensed by AMF, Tokyo /DNPartcom Reproduced
with the permission of Ministero per i Beni e le Attività Culturali

◆

16世紀末、ローマに現れた若き天才ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ。彼の絵画はきわめて斬新、人々は目を見はり、驚きと賞賛と、ときに物議をもって迎えました。圧倒的な描写力、巧みな画面構成と現実感、強烈な明暗のなかのドラマチックな場面……。それまでの美術の規範（きまりごと）などものともしないカラヴァッジョの独創は、西洋美術史に大変革をもたらします。彼こそ、17世紀バロック絵画の幕開けを告げる革命児（パイオニア）だったのです。

◆

カラヴァッジョが北イタリアのミラノに生まれたのは1571年9月29日。幼年期に近郊のカラヴァッジョ村（一族の出身地。名前の由来はここからですね）に移り住みますが、父を早くに亡くして、13歳から徒弟とし

《女占い師》1597年　カピトリーノ絵画館蔵
©Archivio Fotografico dei Musei Capitolini

《リュート弾き》1596～97年頃　個人蔵
©Associazione Metamorfosi

てミラノで絵画修業を始めました。1590年代にはローマに出てさらに技量を磨き（当初は貧窮の生活が続いたらしい）、やがて貴族や聖職者などに認められて、少年像や風俗画などを描き、その画才を存分に発揮します。

そして1600年、サン・ルイージ・デイ・フランチェージ聖堂の祭壇画を皮切りに、独特な視点と迫真の写実による宗教画の傑作を次々と制作、大評判となりました。人物がほぼ等身大で描かれ、聖なる奇蹟の場面が、実際に礼拝者の眼前で起こっているかのような衝撃に、人々は大興奮、大熱狂したのです。その生々しい迫力は、まさにリアル、これぞ真実。まったくそんな絵は今まで見たことのないものでした。

カラヴァッジョの革新的絵画は多くの画家たちに感化を及ぼし、影響はヨーロッパ各地へ、そして時代を超えて拡がっていきます。

◆

その絵画が型破りなら、彼の人生もまた波乱に富んだものでした。名声が高まるほど、カラヴァッジョの素行は乱れて諍いや乱暴な振る舞いが激しくなり、ついに1606年には決闘沙汰で殺人を犯します。死刑宣告が出されてローマから逃亡した彼は、ナポリ、マルタ、シチリアなど南イタリア各地を流浪しながら、制作を続けました。画面の闇はますます深まり、劇的ながらも静謐な雰囲気をたたえた数多くの宗教画の傑作が生み出されます。しかし1610年の夏、恩赦を期待してローマへ向かう途中、彼は熱病に倒れて38歳10ヶ月の生涯を終えました。絶えず絵筆と剣を握り続け、天才の栄光とともに、狂乱や無頼の伝説がつきまとったカラヴァッジョの人生は幕を閉じたのです。

◆

本展では、イタリア国内の所蔵作品を中心に、日本初公開の《病めるバッカス》《洗礼者聖ヨハネ》など10点以上のカラヴァッジョ作品（帰属作品含む）に加え、彼の影響を受けた継承者たち（カラヴァッジェスキと呼ばれます）、そしてアルチンボルド、グイド・レーニなど、同時代のライバルや個性派作家の作品など、あわせて40点あまりを北海道で初めて展示します。常に絵筆と剣を携え、激情と苦難に彩られながら、新時代の潮流を導いたカラヴァッジョの芸術の輝きをご覧ください。

《法悦のマグダラのマリア》1606年　個人蔵
©Associazione Metamorfosi

耳より情報！

本展は札幌を皮切りに名古屋市美術館、そして大阪あべのハルカス美術館へと巡回。それぞれの会場でしか観られない秘蔵作品（しかも日本初公開!）があるのです。札幌は《病めるバッカス》、名古屋は《ゴリアテの首を持つダヴィデ》、大阪では《ホロフェルネスの首を斬るユディト》。いずれもカラヴァッジョの代表作として見逃せない大傑作!　三館制覇の野望を持つ方はいませんか?

《ゴリアテの首を持つダヴィデ》1609〜10年頃
ボルゲーゼ美術館蔵　＊名古屋のみ展示
©Alinari, Licensed by AMF, Tokyo /DNPartcom Reproduced with the permission of Ministero per i Beni e le Attività Culturali

《ホロフェルネスの首を斬るユディト》1602年頃
バルベリーニ宮国立古典美術館蔵　＊大阪のみ展示
per concessione del Ministero dei Beni e delle Attività Culturali e del Turismo

近代美術館

テレビ北海道開局30周年記念 東山魁夷　唐招提寺御影堂障壁画展

6月8日(土)～7月28日(日)

戦後を代表する日本画家、東山魁夷(1908―1999)の深い精神性と豊かな叙情をたたえた風景画は、日本人の自然観や心情を普遍的に表現したものとして高く評価されています。なかでも10年かけて完成された唐招提寺御影堂障壁画全68面は、画家の記念碑的大作です。

多くの困難を乗り越え中国から来日し唐招提寺を開基した鑑真和上に捧げるため、日本や中国各地を歩いてスケッチを重ね、幾度も構成を練り、第一期1975年に奉納した《山雲》、《濤声》では日本の豊かな自然を描き、第二期1980年に奉納した《揚州薫風》《桂林月宵》《黄山暁雲》では中国風景を題材に水墨表現に挑み、新境地を開いています。

本展では、唐招提寺御影堂の修理が行われるに際し、通常は非公開となっているこの障壁画の全貌を紹介するとともに、スケッチや下絵などを展示して、構想から完成にいたる画家の足跡をたどります。

東山魁夷《唐招提寺御影堂障壁画　濤声》(部分)
昭和50年　唐招提寺蔵

mima北海道立三岸好太郎美術館

まぼろしミギシとともに／フランク・シャーマンコレクション

―あるアメリカ人を魅了した浮世絵

7月13日(土)～9月4日(水)

昨秋、発行して好評を得た『まぼろしミギシ探索ガイド』を軸にした展覧会を開催。今は所在不明あるいは亡失し、まぼろしとなった三岸作品の写真パネルを、同時代の作品やエピソードとともに紹介し、現存作品だけではわからない表現の幅や魅力を探ります。また、昨年に続きシャーマンコレクションを取り上げ、浮世絵展を同時開催。戦後、GHQの軍属として来日し、藤田嗣治ら日本人と交流、その影響下に日本美術を収集したシャーマンを魅了した浮世絵から歌川国貞(三代豊国)・歌川国芳の作を中心に25点を展覧。図版は国貞の人気揃物《近世水滸伝》の1点で、容貌美麗な16歳ながら、幼い時に両親を失ってならず者となった夏目子僧新助を役者・岩井粂三郎の似顔で描いた作。虎の着物に桜の刺青、出刃を咥えた迫力の姿が鮮烈です。同揃物から5点が出品。お楽しみに。

歌川国貞(三代豊国)
《近世水滸伝　夏目子僧新助　岩井粂三郎》
河村泳静氏蔵(伊達市教育委員会寄託)

旭川美術館

ミュシャ展～運命の女たち～

4月27日(土)～6月23日(日)

アルフォンス・ミュシャがこの世を去って80年。現在でもヨーロッパだけではなく、世界の人々を魅了し続けている作品は、日本の美術館でも多くの展覧会で紹介されています。

本展は、ミュシャの画業のなかで、特に多く描かれている女性に焦点をあて、恋人や娘をはじめとする「運命の女たち」がミュシャの作品にどのように関わってきたかを、当時の貴重な写真資料なども交えて展観するものです。

ミュシャの出世作ともなったポスター「ジスモンダ」に描かれているパリで活躍した女優サラ・ベルナールとの出会いは、いわゆる「ミュシャ様式」を生み出すことになりました。こうした装飾的な表現にとどまらず、アカデミーで学んだ古典的な表現を知ることができる素描や版画も併せて展示され、油彩画家としても大作《スラヴ叙事詩》(本作は未出品)を手がけた画家の制作を深く知ることができます。

出品作品は貴重な油彩画も含めて約150点で、すべてチェコ共和国のズデニェク・チマル博士のコレクションです。チマル・コレクションのみの展覧会は日本で初めての開催です。尚当展は函館美術館(6月29日～8月25日)に巡回します。

アルフォンス・ミュシャ
《ポスター「黄道十二宮」》
1896年

函館美術館

世界の名作絵本原画がやってきた！

剣淵町絵本の館コレクション

4月18日(木)～6月9日(日)

旭川市から50㎞ほど北に位置する剣淵町では、1988(昭和63)年に町の若者達が「けんぶち絵本の里を創ろう会」を結成、絵本によるユニークなまちづくりをすすめてきました。2004(平成16)年には剣淵町絵本の館が現在地に移転開館し、絵本の閲覧や貸出、絵本原画展やワークショップ、優れた絵本に対する「けんぶち絵本の里大賞」授賞などの活動を展開し、絵本を核とする教育・文化の拠点として注目を集めています。

本展は、剣淵町絵本の館が所蔵する1,000点をこえる絵本原画コレクションから、北南米やロシア、東西ヨーロッパ、アジアなどの海外の作品、そして日本国内と北海道で生まれた絵本の原画約200点を選りすぐってご紹介します。絵本を手にとってよんだり、広い壁にお絵かきを楽しんでいただけるコーナーもあります。明るい日差しにめぐまれる春のひと時、ぜひご家族でお楽しみください。

海月清則《こうしがうまれたよ》1988年
剣淵町絵本の館蔵

帯広美術館

タグチ・アートコレクション 球体のパレット

4月16日(火)～6月19日(水)

多種多様な人々が暮らすこの世界。私達はそれぞれの文化や考え方、拠り所を持ちながら、互いを認め合い、しかしそれ故にいがみ合ったりもします。人々が隣り合い混じり合う様を絵の具のパレットに見立てると、現代美術は地球という〝球体のパレット〟から色をすくい取って表現することとも言えるかもしれません。

世界で繰り広げられる多様なアートを蒐集したのが「タグチ・アートコレクション」。実業家・田口弘氏とその長女・美和氏が、親子二代にわたって築き上げた本コレクションは、アジア、アメリカ、中東、アフリカ、ヨーロッパ各国のアーティストによる作品から構成されています。

400点を超える作品の中から約70点を厳選した本展は、世界中の現代美術がひとところに凝縮した展覧会です。アートが語りかけてくる〝いま〟に、目を向けてみませんか?

本展は当館に続き、釧路芸術館(6／28～8／29)、函館美術館(9／7～11／10)、札幌芸術の森美術館(11／19～1／13)に巡回します。

名和晃平《PixCell-Deer #51》2018年
courtesy of SCAI THE BATHHOUSE
photo: Nobutada OMOTE | SANDWICH

釧路芸術館

江戸の遊び絵づくし

4月12日(金)～6月19日(水)

江戸の庶民芸術として国際的にも高く評価されている浮世絵。「美人画」「役者絵」「風景画」といった三大ジャンルの印象が強いものの、中には観る人を「クスッ」と笑わせるような、遊び心にあふれた造形を見せる作品もありました。本展ではこうした浮世絵を「遊び絵」として、約100点紹介します。

遊び絵にはクイズ、だじゃれ、パズル、ペーパークラフトなど、現代の娯楽にも通じる要素が盛り込まれています。楽しさ、面白さだけを追求したのみならず、時事の話題や社会風刺がモチーフになっているものもあり、遊び絵が江戸っ子のエンターテイメントとして親しまれていた様子が目に浮かびます。

展示室内には実際に手を動かして遊び絵の世界を体験できる仕掛けもあります。見て、読んで、触れて、機知とユーモアにあふれた世界をお楽しみください。これまでの浮世絵のイメージを変えるような作品に出会えるかもしれません。

歌川国芳
《みかけハこハゐがとんだいゝ人だ》

札幌芸術の森美術館

札幌美術展 砂澤ビッキ―風―

4月27日(土)～6月30日(日)

北海道を代表する木彫家・砂澤ビッキ(1931～1989年)の没後30年を記念する展覧会。本展では、ビッキが晩年取り組んだ「風」シリーズを軸に、約30点の彫刻作品を展示する。木という素材に向き合い続けたビッキは、木に宿る「樹氣(きき)」をあらわにすることに挑んだ。そのなかで「風」のシリーズは、樹氣が力強く、躍動感のある形で表現されており、ビッキの自然への畏怖の念を体感させてくれる。また「風」といえば、《四つの風》というビッキの大作が当館併設の野外美術館で常設展示されている。設置から30年以上経過した本作は、彼の望みどおり自然の成り行きに任せ、「風雪という名の鑿」によって変化を続けている。

本展では、《四つの風》の設置から現在までの資料を映像や写真で展示する。そのほか、当館が現在調査を進めているビッキの素描や資料を、彫刻と関連付けながらテーマ別に展示する。これにより、ビッキ独自の自然観・芸術観を解き明かし、改めて彼の偉業を振り返る。

砂澤ビッキ《四つの風》1986年、
札幌芸術の森野外美術館
撮影:前澤良彰(2018年)

本郷新記念札幌彫刻美術館

家具の彫刻家 フィン・ユール展

前期 8月2日(金)～9月23日(月・祝)
後期 9月26日(木)～11月7日(木)

デンマークの近代家具デザインを代表するデザイナーの一人、フィン・ユール(1912―1989)について紹介する展覧会です。もともと建築家であったフィン・ユールが生みだすかたちは、それまでのデンマークで主流だった機能的でシンプルなデザインとは一線を画し、既成概念に捉われない彫刻的な美しさを有します。《イージーチェアNo.45》は〝世界で最も美しい肘掛けをもつ椅子〟と称されているほどです。近年、そのデザインは再評価され、デザイン当時の貴重な作品はコレクターの間では垂涎の的となっています。

本展では、椅子研究家・織田憲嗣氏が収集した世界的にも貴重なコレクションの中から、ユールのデザインによる美しい椅子や日用品を紹介するとともに、図面等の資料および愛用品を展示し、彼のデザインとそれらが生み出される原点となった美的感覚について考察します。美しい作品の数々をより多くご覧いただくために、会期を前・後期に分け一部作品の入替を行います。

フィン・ユール《イージーチェアNo.45》
1945年デザイン

MUSEUM CALENDAR
2019.4～2019.10

美術館のおもな展覧会ご案内

は特別展示室　は常設展示室

	4	5	6	7	8	9	10
近代美術館		4/19(金)～5/26(日) 生誕100年・歿後20年 相原求一朗の軌跡 －大地への挑戦－	6/8(土)～7/28(日) テレビ北海道開局30周年記念 東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展		8/10(土)～10/14(月・祝) カラヴァッジョ展		
	3/30(土)～7/28(日) (1階) 風雅の人 蠣崎波響 展 近美コレクション　ざわめきの中へ　謎めくコレクションの打明け話 (2階) アートギャラリー北海道　「拝啓、藤田嗣治 様」 ―フランク・シャーマンと藤田、戦後の交友をめぐって―				8/10(土)～11/10(日) (1階) バック・トゥ・ザ・フューチャー 来るべき20年代に向けて (2階) 新収蔵品展　ふれるかたち		
	TEL 011-644-6882 道近美 検索						
三岸好太郎美術館	～4/11(木) 変貌の画家 三岸好太郎 mima-no-me #みまのめ <VOL.4> 木全佑衣／佐藤歩惟	4/24(水)～7/4(木) 道化に魅せられて		7/13(土)～9/4(水) まぼろしミギシとともに		9/14(土)～12/1(日) 特別展 三岸好太郎と幻想のイメージ	
				7/13(土)～9/4(水) アートギャラリー北海道 フランク・シャーマンコレクション ―あるアメリカ人を魅了した浮世絵		9/14(土)～12/1(日) アートギャラリー北海道 mima-no-me　#みまのめ<VOL.5>	
	TEL 011-644-8901 mima 三岸美術館 検索						
旭川美術館	～4/17(水) 探検!? 美術館	4/27(土)～6/23(日) ミュシャ展 運命の女たち		7/6(土)～9/1(日) ブリティッシュ・オートマタ ポール・スプーナーと 英国現代からくり人形の世界		9/14(土)～11/10(日) 没後20年 岩橋英遠展	
	～4/17(水) 感じるアート ―イロ・カタチ・ココロ	4/27(土)～9/1(日) ニュー ストーリーズ				9/14(土)～11/10(日) 自然の風景―日本画の世界	
	TEL 0166-25-2577 旭川美術館 検索						
函館美術館	4/18(木)～6/9(日) アートギャラリー北海道 世界の名作絵本原画がやってきた! 剣淵町絵本の館コレクション	6/15(土)～6/21(金) 第60回 北海道書道展 函館展	6/29(土)～8/25(日) ミュシャ展 運命の女たち			9/7(土)～11/10(日) アートギャラリー北海道 タグチ・アートコレクション 球体のパレット	
	春～夏　4/18(木)～8/25(日) 鳥たちのささやき　ハコビ・コレクションのニュー・カマー					秋～冬　9/7(土)～2/2(日) ハコビ・コレクションの現代アート	
	TEL 0138-56-6311 函館美術館 検索						
帯広美術館	4/16(火)～6/19(水) タグチ・アートコレクション 球体のパレット			7/6(土)～9/1(日) チームラボ 学ぶ!未来の遊園地と、 花と共に生きる動物達		9/14(土)～11/24(日) 北斎展 師と弟子たち	
	4/16(火)～6/19(水) 新収蔵品展			7/6(土)～9/1(日) パリを彩る メディア・アートとしてのポスター		9/14(土)～11/24(日) 絵画は躍る？!	
	TEL 0155-22-6963 帯広美術館 検索						
釧路芸術館	4/12(金)～6/19(水) 江戸の遊び絵づくし			6/28(金)～8/29(木) タグチ・アートコレクション 球体のパレット		9/13(金)～11/7(木) 宇宙象 嶋崎誠展 古代技法によるガラス彫刻群	
	TEL 0154-23-2381 釧路芸術館 検索						
札幌芸術の森美術館	4/27(土)～6/30(日) 札幌美術展　砂澤ビッキ　―風―			7/13(土)～9/1(日) テオ・ヤンセン展		9/14(土)～11/4(月・祝) 奇跡の芸術都市　バルセロナ展	
	4/27(土)～6/30(日) 札幌芸術の森美術館コレクション選　新収蔵品展					9/14(土)～11/4(月・祝) 札幌芸術の森美術館コレクション選	
	TEL 011-591-0090 芸術の森美術館 検索						
札幌彫刻美術館 本郷新記念	4/27(土)～6/30(日) 砂澤ビッキ展 －樹－			7/13(土) ～7/24(水) わくわく★アート スクール2019	(前期) 8/2(金)～9/23(月・祝) 家具の彫刻家 フィン・ユール展	(後期)＊予定 9/26(木)～11/7(木) 家具の彫刻家 フィン・ユール展	
	4/6(土)～2020年4/22(水)　本郷新の歩みと芸術						
	TEL 011-642-5709 本郷新彫刻美術館 検索						

○開館時間　9：30 ～ 17：00　（入館は 16：30 まで）　※芸術の森 9：45 ～ 17：00（6 月から 8 月は 17：30 まで）
○休 館 日　●毎週月曜日（月曜日が祝日又は振り替え休日のときは開館、翌火曜日休館）
●年末年始（12/29 ～ 1/3）　●展示替え期間　（展覧会と展覧会の間）
※施設により臨時休館、臨時開館の場合もありますので、各施設のホームページでご確認いただくか施設にご確認願います。

※会員証の利用について　貸館の観覧は会員証が利用できない場合がありますので、ご了承願います。

リニューアルしたmimaの今

昨年2月にリニューアル・オープンしたmima。照明がLED化され、かつての重々しいアーム式ライトから解放されたすっきりとした展示室に光がふりそそぎ、三岸のアトリエイメージを生かした建築デザインも際立つようになりました。LEDの光は従来の蛍光灯や白熱灯とも異なり、展示ではプラス・マイナス両面があるものの、代表作の油彩《オーケストラ》に関しては、シャープな光線の効果で、描かれたひっかき線が鮮明に浮かび上がり、モティーフである演奏者たちの躍動感も強まり、表情まで見えてくるようです。来館した馴染みの絵画修復家が驚くほど、作品の印象が違います。

そして新設の展示室6、7ではアートギャラリー北海道事業の新シリーズ「mima・no・me #みまのめ」が既に第4回の開催を迎えました。三岸が生きた時代から約1世紀を経て、画家・三岸と同じ20代、30代の若い作家たちの多彩な作品を展覧。本展により来館する若者の姿が増えたほか、国内外からの来館者が思いがけず今日の清新な表現に触れ、「良かった」「良い企画だ」との声を多く頂いています。美術関係者からの反響も大きく、長い目で地域の作家を育て、美術活動の活発化を促す美術館の役割を改めて実感しています。版画と金工の分野で物語性ゆたかな造形世界を紡ぐ木全佑衣（1995年生）と佐藤歩惟（1991年生）を紹介する「#みまのめ〈VOL. 4〉」も4／11まで開催中。北海道の美術界を担っていく新鋭の作品をお見逃しなく。

（北海道立三岸好太郎美術館　副館長　土岐美由紀）

展示室6「#みまのめVOL. 3」会場　作品／宇野嘉祐〈ISOLATION〉〈プチプチ〉

第60回学生美術全道展

2018年10月6日（土）～9日（火）　札幌市民ギャラリー

昨年10月に開催された同展の最高賞である全道美術協会賞・北海道美術館協力会賞には、絵画部門から橋本幸奈（ゆきな）さん（おといねっぷ美術工芸高校2年）の油彩作品「私を規定しないで」（F100号）が選ばれた。

「性別を越えた個としての人間を見て欲しい…」その若者としての挑戦的な思いは作品の中に凝縮されている。シンメトリー、逆光、正面からの描写。どれも難しい画面構成の中で、卓越したデッサン力がそれを支えている。薄塗りながらも足の先まで丁寧に塗り込められたその画面は重厚なマチエールを感じさせる。

斜里町出身の橋本さんは受賞について「親が一番驚いていると思います」とはにかんだ。

橋本さんには当協力会会長より賞状、記念品が授与された。

同展は大学生、高校生らを対象とした絵画、版画、彫刻、工芸の4部門からなり、今年の応募総数146点、このうち入賞、入選は142点。

橋本幸奈《私を規定しないで》
おといねっぷ美術工芸高校

第11回 道展U21

北海道美術館協力会賞に札幌国際情報高等学校　渡辺香乃さんの絵画『まちあかり』が受賞した。

今回の応募総数は平面と立体の計827点。（2月1日～3日　札幌市民ギャラリー）

渡辺香乃《まちあかり》
札幌国際情報高等学校

ご入会ありがとうございました　新会員紹介　2018年8月～2019年2月・敬称略

＊個人会員

8月

札幌市　佐藤　哲
〃　池田　俊博
〃　池田　美雪
〃　池田　康子
〃　伊藤　景子
〃　丸山　雅代
〃　高久　規明
〃　高久　真弓
〃　風無　佳子
〃　土屋　公三
〃　宮野　冨久代
〃　阿部　いずみ
岩見沢市　川井　姿奈子
〃　戸田　雅代
幕別町　河上　和史

9月

札幌市　佐々木　奈美
〃　山田　純
札幌市　暮林　千春
〃　福田　陽平
〃　藤嶋　愛子
小樽市　板本　優子

10月

札幌市　阿部　みつる
〃　前野　陽子
〃　五十嵐　政三
〃　五十嵐　敏恵
〃　五十嵐　晶哉
〃　大友　藤泉
〃　内藤　香代子
〃　松名　美和
〃　原　靖子
〃　小坂　和江
〃　安念　英子
〃　笠井　康弘
〃　笠井　美智子
〃　清水　広
札幌市　太田　裕子
〃　戸澤　恵理子
〃　斉藤　孝子
石狩市　澤田　裕子
帯広市　外瀬　良子

11月

札幌市　森　早矢歌
〃　勝田　直樹
〃　荒千　砂
〃　安田　春枝
〃　庄中　弘子
〃　中村　和夫
〃　佐藤　江位
〃　渡慶次　昌代
〃　中田　靖人
〃　山本　裕二
〃　山本　芙美子
〃　高橋　涼子
〃　宮越　葉子
札幌市　三浦　寿美恵
〃　清水　和子
〃　永野　京子
〃　細谷　明美
小樽市　髙野　香世
〃　成田　由佳
〃　齋藤　和男
横浜市　河村　泳静

12月

札幌市　加藤　保
〃　遠山　三四夏
〃　遠山　美恵子
〃　松田　直美
〃　小沢　正晴
〃　工藤　弘美
〃　工藤　真津子
〃　宮澤　照恵

1月

札幌市　本間　澄子
〃　山口　一豪
〃　三原　敬子
〃　岩谷　裕子
〃　岩谷　雅彦
〃　髙畠　由香
〃　渡慶次　学
〃　東浦　あづさ
〃　髙橋　アンナ
〃　西村　裕子

2月

札幌市　福原　郁子
〃　清水　瓊子
〃　酒井　尚子
〃　井元　はるみ
〃　小野　徹
〃　伊東　三智子
〃　斉藤　徳子
〃　大泉　京子

＊法人会員

11月
札幌市　東邦交通（株）
〃　北海道ビルサービス（株）
札幌市　（株）京王プラザホテル札幌
〃　（株）サクマ

12月
札幌市　（有）しらかば薬局

第36回　国内美術研修（2018年10月10日~13日）新潟・富山めぐりの旅4日間「伝統と現代が交錯する新潟・富山」

弥彦の丘美術館にて館長の説明を聞く

名物の「へぎ蕎麦」と味わいのある新潟米の昼食。新潟県立万代島美術館で、絵本でお馴染みの「みんなのレオ・レオーニ展」を満喫。「弥彦の丘美術館」は、慈悲深く静謐な観音の絵画が迎えてくれる。作者自身が私たちの為に来館し、祈りをテーマとした天空からの輝き＝長岡花火・優美な観音像の数々を解説。地元の杉などを使った富山県美術館、懐かしいポスターの数々をデジタル化・アートな世界の椅子コレクションなど。美しい芝生が映える富山県水墨画美術館、日本画の優美な作品群に心が落ち着く。富山の薬売りでお馴染みの旧製薬所での薬膳料理に心身がリセット。

感動・温かい出会い・思いやりいっぱいの4日間でした。

富山県美術館屋上の子ども遊園地

芸術週間会員募集増キャンペーン・のみの市

芸術週間（2018年11月2～4日）にともない協力会では、3日間限定の会員募集キャンペーンを行いました。期間中には芸術週間恒例の「のみの市」が催され大好評。ボランティア寄贈の写真立はなんと！完売です。帰りがけには入会手続きをされている方もいて、とても有意義なキャンペーンとなりました。

アート・クラブ2018 もふもふをチクチクでふわふわアート

11月3日（土）、近美2階ホールは色とりどりの毛糸と明るい日差しに包まれました。フェルトの土台をキャンバスに、専用の針で毛糸を刺して作品を作ります。大人もチクチク。子どももチクチク。毛糸を足してチクチク。不思議なことに毛糸がフェルトに絡んでほどけません。大好きな動物や景色の素敵な絵の出来上がりです。参加者は「はまるー！！」と感想を話していました。

「美術への誘い」―多彩なプログラムに浸る―

2018年11月6日（火）に、恒例となったボランティア活動員の特別活動部における事業「美術への誘い」が、札幌市中央図書館において催されました。

美術への興味・関心を高めるために企画されたもので、今回は《近美コレクション名品選》《北海道の風景》《フェルメール》という多彩なプログラムによる3講座でした。

当日は、若い方からお年寄りの方まで、30名を超える参加者を数え、北海道の懐かしい風景等に、思わず声を上げながら楽しまれている様子が見られました。

近美Museum Shop

春のショップはキャンドルがいっぱい。ポストカードも充実です！

隕石キャンドル
各864円

ロリーポップキャンドル
各648円

キャットプレート（アロマ）
各400円

アットウシ織りバッグ
小川早苗作
各70,000円

栗谷川健一 ポストカード
各108円

編集だより

■上野の森美術館は「フェルメール展」、さぞかし芋を洗うような状況で名画近くには、たどり着くことが出来ないのだろうと思っていました。しかし意外や意外、「時間制予約」なるものを初めて体験し、満足のいった名画鑑賞となりました。このような取り組みが北海道にも広がると嬉しいですね。

■昨今は雪害のため空港ロビーに、足止めされる旅行者の姿が多く見られるようになりました。そんな北国の冬の日々の中、雪を踏みしめながら事務局に通い、なんとか74号発刊に至ることができました。出来栄えはいかがでしょうか。　K・M